

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学（新約聖書）	1	後期	必修	はい	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、前期に培った旧約聖書の知識を土台として、イエス・キリストの生涯を中心に新約聖書の概要を学び、キリスト教が世界の文化に与えた影響を学ぶことを目的としている。後半では、グループごとに関心のあるキリスト教に関するテーマのResearchを行い、プレゼンテーションを行う協働学習を行なった。また、最後には1年間の学びのまとめとして建学の精神である「感恩奉仕」について個人が考察した。毎回の授業では聖書の輪読や紙芝居、DVD鑑賞やディスカッション、発表など、様々な形で学生が参加できるよう学びの形態を工夫した。</p> <p>②毎回授業の最後に記入するクラスポートフォリオ、チャペルの感想を記すチャペルポートフォリオにより、キリスト教の学びの全体像を把握した。</p> <p>③学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、一年間のキリスト教の学びの振り返りを行う作業をした。学びの振り返りと共に、西南女学院生としてのアイデンティティの形成、意識が高まったように思う。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>"授業評価アンケートの結果は、自分なりの目標を達成した(4.2)、知識理解に関しては(4.2)であった。到達度の自己評価の平均値は(4.0)。トータル成績の平均値は約80%以上。チャペルの視聴率約80%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、新約聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えます。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標はやや達成されたと言えます。"</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「旧約聖書」の学びを踏まえ、展開している。旧約聖書の学びを前提としての発展的な学びとして新約聖書の学びを深めるだけでなく、チャペルや教会訪問を通して全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 新約聖書の内容を視覚教材を取り入れながら学び、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、学生たちが意欲的に取り組んだ。グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。"</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価についての平均値は(4.3)であった。説明が理解しやすいものであった(4.3)は、学生との双方向のコミュニケーションを工夫したことによると言えよう。 本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」が(4.4)、「学生の意見を受け付け、それに答える機会が作られていた」は(4.3)であったが、2年次以降も建学の精神の土台となる聖書に日常的に親しむことができるよう、授業以外でも自ら聖書を開けるような促しをしたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>建学の精神の土台を学ぶための必修科目の位置づけであり、本学の要となる科目であるが、旧約聖書を土台に発展的に展開していく上で、旧約での学びが重要である。旧約の復習も講義に加えつつ、通常では、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。今年度は昨年と違いコロナも落ち着いてきたこともあり、グループ発表を再開することができ、協働学習に取り組むことができたことに感謝したい。引き続き、学生の興味関心を引き出し、聖書を身近なものとして日常的に読むよう促すことが課題である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と文化	2	後期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、キリスト教で学んだ知識をもとにキリスト教に関する視野を広げていく内容である。キリスト教の歴史を概観した後、聖書を土台とした芸術作品の鑑賞、キリスト教音楽や文学作品を味わうことによって、キリスト教を土台とした文化について視野を広げた。最後には、学生自らがキリスト教文化に関するテーマを自由に設定し、グループでの発表を行う協働学習の機会を設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関して、また到達度自己評価の平均値はいずれも4ポイント以上であった。トータル成績の平均値は約80%以上。聖書を土台として西洋の文学作品・芸術作品に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。また、チャペルレポートの提出やクリスマス礼拝への参加は95%以上であり、コメントカードの内容と感想文の内容から、チャペルや教会訪問を通し、下記のキリスト教の価値観を養うことができる、という行動目標も達成された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察できる。 2. キリスト教に関連するテーマを調査し発表を行い、教養を養うことができる。 3. チャペルや教会訪問を重ねることを通し、キリスト教の価値観を養うことができる。 					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本科目はキリスト教を終え、更にキリスト教について深めたい学生が中心に受講している。本学の要となる聖書の内容を学ぶキリスト教の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであり、文学や芸術に関して幅広く扱っているが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。

②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性
著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表を行い教養を養うことができ、という行動目標について、今年度はようやく対面授業が復活したため、学生による調査・発表が再開でき感謝であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本講義は、キリスト教の学びをより深めたい学生の興味に応じることが重要である。授業の質評価の平均は4.2ポイントであったが、引き続き、学生たちが主体的に意見交換ができるような進め方を工夫したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

講義としては質評価の結果に表れているように妥当であったと言える。対面授業が再開したので、今後は他学科の受講生との多角的な意見交換ができるような方法を工夫したい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーII	1	後期	必修	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1.観光文化学科にて前学期に実施される初年度セミナーIに引き続き、大学での学修について理解を深める講義とした。</p> <p>教材を利用しつつ、より理解が深まるように参画意識を持たせた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価においては平均点が4.3から4.4、中央値がすべて5.0と総じて高い値を示しており、全体を通じて教育目標は達成されたと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は必修科目であり、総合人間科学の基礎科目であることに鑑みると、DP/CP/カリキュラムマップとの内容妥当性は担保されていると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては平均点が4.4から4.5、中央値がすべて5.0と総じて高い値を示しており、全体を通じて教育目標は達成されたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本授業は基礎的知識の習得であったため、2年次に向けて、より深耕学修ができるように指導を続けていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生涯スポーツ	1	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は、学期の始講と最終講に体力測定と体組成の測定を行ない、授業の運動量と身体組成や健康度との関係の把握を体験させる。</p> <p>②実技中は受講生にカロリーカウンターを貸し出し、各授業時間の運動量（歩数、カロリー）を記録し、運動量と消費カロリーの把握させる。</p> <p>③始業から3回の講義時間を「筋力トレーニングの方法とトレーニング機器の使い方」、「持久性トレーニングの方法と心拍数を基準とした運動強度設定」、「ストレッチ体操の方法と実用」について講習を行い、授業外に、また生涯にわたり自ら運動を処方できるよう計画した。</p> <p>④各受講者は毎授業時にカロリーカウンターを装着し、目標を持って授業に望む様に促し、自己の運動量の把握することで、運動意欲を喚起する。</p> <p>⑤1および2について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるようにする。</p> <p>⑥チームスポーツが入学直後であることを考慮し、チームのメンバーは種目毎に入れ替え、多数の人とコミュニケーションを取るようにする。チームミーティングを試合前後に行わせ、チーム戦略立案、各自の役割、チーム員としてのポジティブな行動を実践させる。また、試合後のミーティングで改善点(課題)などをまとめ記録し、そのフィードバックの成果を実感し、チームで活動する意義を考えさせる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均75 (SD10.1) 再試対象者0人、80点以上4名 (6名中) 目標達成、理想的レベル達成</p> <p>受講動機；興味関心83%、単位確保50%、友人履修50% 必修だからではなく科目の意義関心で受講を決めたものが半数おり好ましい状況に近い。</p> <p>達成度の自己評価；3.3～4.7 (4.0以上8項目/10) 高評価、自己目標の達成感をほぼ全員表明</p> <p>授業の質；4.0～5.0 (4.0以上5項目/5) 高評価、プレゼンと討論の能力の育成を加えたい</p> <p>学習量；授業時に学習記録、運動記録、試合記録をタイムリーに行うので、もっと授業中の学習の工夫が必要</p> <p>情報利用；シラバスは半数近くが参考にしている。シラバスの充実が必要。</p> <p>図書館の利用；図書館、インターネットともに利用が低い。学習方法など調べて実行する課題が必要。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性について

本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識であり、また、生活信念、健康志向、美容的自己管理に関わりのある科目内容と考える。受講生は興味関心から科目を選び、高い成績を収めていたことから、妥当な内容と考える。

②DP, 行動目標からみての内容的妥当性について

成績評価から、内容的妥当性は十分あったと思われる。興味が高いので、もう少し内容を深く進めることができると考える。

③受講動機で内容に関心がある学生が多いが、「受講動機」が曖昧な学生も存在する中、「学習到達度の自己評価」は11名(17人中)が達成できたと考えており、本科目が妥当な内容であったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量の評価において、予習を全くしなかった者が2名(6名中)であった。

毎回授業で関心が高まっていれば幸いである。

シラバスを参考にした者が2名、授業計画を立てなかった者が6名であった。シラバスの利用者は13名と少ない。

次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
女性史	2	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>近代日本の女性史の学習を通して、現在に続くジェンダー問題の所在を確認することを重点化し、教育制度やメディアが意識形成に与えた影響を取り上げながら授業を進めた。初回到女性史を学ぶ意味が「伝統」を疑う知的根拠を獲得すること、そのためにジェンダーの視点で歴史を見直すことを伝え、全講義の流れを、明治時代、大正時代、15年戦争期、高度成長期、21世紀までであること確認した。中学高校までの歴史の授業で得た知識を反芻することが準備になることを確認した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された			

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>明治から戦後に至る近代日本の女性史に関する基本的な知識を理解することを目標としていたが、歴史に関する基礎知識量や歴史的関心の差が学生間で見受けられた。試験前に、授業の総復習をして、ジェンダーの視点でみる近代日本の女性の位置づけを確認した。特に重要なポイントについては、各授業の課題を各自で振り返ることで理解を深めるよう勧めた。授業評価では、授業後に文献やネットで調べて考えた学生も存在した。試験の結果からみると、ポイントはおおむね理解している層が厚いものの理解不足の学生も一定数いた。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

現在の社会経済フォーラムが示す日本の女性の地位の低さの原因を歴史的背景に見出し、産業化と女性の民主化と関連付けて理解できるよう、ネットで取得できる最新のデータを示した。また、テレビや映画で描かれた女性像もネット動画で視聴できるものを活用し、時代背景を映像で確認するとともにジェンダーの視点で映画や雑誌の製作者の意図を考えさせた。おむね内容的妥当性は認められるが、当事者性を持って考えるまでに至らない一部の学生は存在した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初回の授業で、通説となっている歴史観をジェンダーの視点で見直すと新たな歴史が見えることを伝えた。授業では近現代史が中心であるが、各自の高校までの歴史授業による知識量に格差がある点を踏まえ、インターネット上の図表や動画も使用した。他学科も合わせると人数が多いため、双方向のやり取りができないのが課題である。改善策としては、前回の授業課題レポートをもとに振り返る時間を確保するようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

女性史は範囲が広いと、主に日本の近代史を中心に絞り、現在の女性の状況と関連付けて授業を進めたために、生徒の関心を現状のジェンダー課題、すなわち根深い固定的性別役割分担意識の原因である家父長制であることについて考えさせることができ、実感を伴いながら知識の理解を深められたと評価できる。今後は、日本の家父長制が根付いた経緯を古代・中世までさかのぼりつつ、世界史的にも家父長制の歴史を触れてその普遍性への理解を深め、現在の国際的なジェンダー平等の現状から日本の課題を改めて客観的に考えられるよう思考力を高めていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>文学とは何かという考察から始め、人が生きてゆくうえで関わる全ての事象…つまりは「実学」を学ぶものであることを、多くの上質の文学作品に触れながら講義し究明していった。そして最終時にはいかに生きてゆくのかといったシンプルではあるが自身のアイデンティティーと向き合い、活力となる原点を導き出すことを学ぶのである。そうして初めて文学をととして「ものごとを解釈する」という文学の原点に到達することを説きつつ講義を進めていった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生たちは毎回の講義において非常に熱心に取り組んでいたように思う。また学生からの感想文も活気あふれるものであったので、私自身嬉しくもあり、講義が楽しみであった。学生たちは関心の要になるものを把握してくれているように感じた次第である。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけについては良かったと思っている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生たちの集中力は途切れることなく反応はかなり良かったように思う。ただし、特に論文の書き方、面接試験については非常に重きを置いているようで、向上心を燃やして頑張っていた。もう少しマンツーマン指導の回数を増やすべきであったように思っている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

達成状況の総括的評価としては、75%までは習得できたのではないと思う。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	桐原 隆弘

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
人生と哲学	1	後期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教科書をもとにした資料を用いて、学生に教科書を読ませ、空欄補充により用語やその意味を理解させるよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>例年、授業は難しすぎて理解できなかった、という直截的批判があるが、レスポンスペーパーや試験結果をみれば内容をおおむね理解していたことが分かる。今年度も同様で、とりたてて難解な内容・説明に終始してはいたわけではない。</p> <p>アンケート（特に自由記述）を根拠とすれば、上記の評価は導き出せないように思われるかもしれないが、教員としてはあくまでもレスポンスペーパーや試験での学生の反応を中心にみる。その観点から、上記のように判断した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

おおむね妥当であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

数年間、「人生と哲学」を担当し、レスポンスカードと試験での優秀な見解、答案をみてやりがいを感じてきたが、その反面、学生評価のなかの厳しい表現に意気消沈させられる。その文面からは、テキスト選定、講義資料の作り方、説明、いずれについても不適切であったかのような印象を受けるかもしれない。教員自身の観点はこれとは異なるので、だからこそアンケートとこのリフレクションカードの両方があるのだろう。授業評価について学生の視点と教員の視点から意見交換し、授業で得たものについて共通の見解を見出すという、建設的な方向は打ち出せないものだろうか。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生は難解な内容にもかかわらず授業に必死でついてきてくれたと思う。この経験を活かせる場面があればと願う。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
比較文化と国際理解	2	後期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目であるが、科目名は多様な内容を含んでいる。例年言えることだが、関連分野以外の学科の学生にとっては具体的に何を学ぶかをイメージしにくいことが課題として挙げられる。2022年度の受講動機をみると「関心のある内容である」を動機とする回答が観光文化学科90.9%、福祉学科および看護学科83.3%に対し、英語学科では66.7%と、学科によって開きがあった。開講時点で関心意欲がそれほど高くない受講者もいることはある程度想定していたため、授業では毎回の授業内容に関わる様々な「確認チェック」という名のQ&Aに答える作業を行わせて彼らの関心を高めることを試みた。</p> <p>②本科目の授業では専門的な用語が頻出し、授業内容の理解が困難となる学生が出るのが想定された。そこで毎回の授業の終りに授業内容のまとめ問題を実施し、授業全体の復習を行った。</p> <p>③比較文化に関しては授業の内容だけではイメージしにくいので、受講者達には「差別」そして「異文化対立」に関連する具体的な動画を見せた。さらにそれぞれの動画内容について学生自身の考えをレポート形式で書いてもらった。</p> <p>④昨年度の課題として受講者が予習復習にかける時間がやや少ないという点が挙げられた。そこで今年度の授業では授業内容に関する知識理解を確認するための小テストを2回実施した。加えて小テストを行う前の週にテスト範囲の予告を行い、予習に時間をかけるよう促した。また今年度も受講者にはテキストを購入してもらい、授業の前に関連個所の予習をしてもらった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>本科目は4つの学科にそれぞれ所属する学生が受講していたが、受講者全体の最終的な成績の平均値は80点以上であった。再試対象となる学生は数名いたが、いずれも再試験にて合格点に達したため、全員が標準的なレベルに達したと言える。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては本試験の対象問題の結果を見る限り83%であった。これに関しては本試験前に知識理解を高める小テストを2回実施したことが結果につながったと考えられる。学生の到達度自己評価に関するアンケートでも、「自分なりの目標を達成した」の回答が4学科平均4.0であった。態度については昨年度みられたレポート問題の提出が遅れる受講者は、やむを得ない欠席による遅れを除いてはほぼいなかった。映像関連に関しては授業を欠席した場合観ることができないため、対応として後日こちらから映像媒体を渡し、個別に視聴させてレポートを書かせた。</p> <p>前年度の課題であった学習量の評価では「授業前の準備に30分以上かけた」と回答した受講者の数は4学科合計で70%以上であった。同様の問いに対する前年度の回答は半数であったため、前年度からさらに大きな改善がされたといえる。また「授業後の復習に30分以上かけた」と回答した受講者の数も4学科合計で70%以上であった。受講者の自由回答でも「小テストがあったことで授業後の復習時間をとるようになった」という記述があり、今回小テストを実施したことが大きな効果をもたらしたと思われる。来年度も引き続き行っていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性
本科目は選択科目ではあるが、総合人間科学の共通科目の位置にある科目である。総合人間科学のカリキュラムポリシーには幅広い教養と異文化理解の基盤を養うことを方針としており、本科目はその方針からみても内容的には妥当であると考えられる。

②DP、行動目標からみても内容的妥当性
知識理解に関する達成度は、成績評価および到達度自己評価の平均値をみても達成されたといえる。態度についても、昨年度のようにレポート提出が遅れる学生はほとんどみられず、レポート内容自体も一定の基準値以下はいなかったことから、内容的には妥当であったと考えられる。

③まとめ
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業評価においては、ほぼ全ての項目において高い評価が得られた。ただ公欠による小テストの評価基準に関して明確でないとの回答があった。これに関してはこちらの説明不足であったと反省し、次年度からは該当者がいた場合は評価基準について明確に説明する予定である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

前年度の課題であった予習、復習含めた授業時間の向上は、小テストの実施と事前の試験範囲の予告を行う事により、先述したように大幅な改善が見られた。特に予習復習ともに30分以上の時間をかけたと回答した学生の数が全体の70%以上いたことは、これまで数年間の授業評価結果をみても過去最高の数値であった。小テストの実施と事前予告は授業時間の向上に非常に効果的であるということが判明したため、次年度も引き続き行っていきたい。

今年度の課題としては本試験、小テスト評価の明確化があげられる。これに関しては、小テストについては採点后に点数を表記して返却し、質問のある学生に関しては個別に対応していく。本試験については次年度より試験終了後に模範解答を提示することが必須となったため、この方法で改善を行いたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語発展	1	後期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は中国語の初級知識をマスターすることを目標としています。学生の受講動機は「関心のある内容である」が81.8%で、「単位数を確保する」が54.5%であります。授業の実施にあたり、2つのことを大切にしていました。1つは、学習者にきれいな中国語の発音と中国語の基本文法をマスターしてもらうこと、もう1つは中国語の歌を取り入れるなどして、学習者が楽しみながら、単語量を増えるようにリズム感のある授業にすることです。</p> <p>②開講時に、学習目標や学習方法、評価方法を、毎回の授業に授業スケジュール及び予習・復習の内容を学生に明示することに心を掛けました。予習・復習してもらった内容は必ず学生に発表してもらい、間違ったところを訂正し、分かりやすく説明することに努めました。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①大多数の学生は毎回の授業に真剣に取り組み、各課の小テストの平均点数は90点以上で、期末試験は平均83.9点の成績を修めました。</p> <p>②「学習量の評価」においては、⑤の6回を選んだ学生が最も多かった。</p> <p>③「到達度自己評価」の(1)～(10)の中央値は4.0であった。</p> <p>以上3点から上記の評価は適切であると考えられます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性
本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目ー中国語通訳ガイド演習やツーリズム中国語」などの科目の基礎であるという重要な位置にある。学生により学習習慣を付けさせ、学習者に分かる、できる、つながると感じさせることが最も重要だと考えて授業を進めた。大多数の学生が優秀な成績を収めたことから、内容的には妥当であったと考えられます。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性
「受講動機」は関心のある内容であったことや、「学習到達度の自己評価」において、(1)～(10)の10項目の中央値が共に4.0であることからみて、内容的には妥当であったと考えられます。
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

つねに学生の学習状況を確認し、無理のないように授業を進めました。
学生からも「人数が少ないということもあり、先生が生徒一人一人に詳しく教えてくれた。」とのコメントがありました。
「授業の質の評価」の(1)～(5)の中央値はすべて4.0であることから授業の進め方は適切であったと言えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

受講者の各課の小テストの平均点数は90点以上で、期末試験は平均83.9点の成績を修めたこと、「授業の質評価」5項目の平均値はすべて4.0であることなどから、教育目標はおおむね達成されたと評価します。
来年度に向けての課題は、コロナという大きな禍を経験した学生たちの心理や特質を把握し、学生にあった教授法を模索することです。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲル発展	1	後期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①今回の受講動機をみると「関心のある内容である」100%、「資格取得に必要なである」31%、「単位数を確保する」31%との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。③毎回小テストと会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由には、「どのようなことをしたいか分からなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をすることで自習を促す。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は89点であり、再試験対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、12名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては89%、機能表現は90%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また機能表現では、文字読み取りテスト、挨拶テストと自己紹介テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。②DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。③まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかり把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フランス語発展	2	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>登録者6名のうち、4名から回答があった。</p> <p>志望動機は75%が「関心のある内容である」、50%が「単位数を確保する」「友人が履修している」と回答した。その他の回答は「GPAをあげる」(25%)だった。教科書は、学習を始めた初年度からフランス語で自己表現できることを目的としたものを採用し、日常の会話や自分自身について話すことを重点的に取り上げた。コロナ禍に鑑み、毎回の授業スライドと音声はGoogle Classroomにアップし、欠席した際のフォローとした。さらに、予習復習シートを配布し、自習を促した。また、実際に旅行することをイメージするために、語学講座の番組等を用いてフランスの観光地や文化を紹介し、学習のモチベーションアップをはかった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は74点(±51点)であり、期末テストを受けた6名のうち6名が単位を取得した。1名がA評価、2名がB評価だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあそうだと思う」と答えた割合は、DP1「知識・理解」、DP5「技能・表現」とともに100%だった。このことから学生の目標は「達成された」と思われる。学習量の面では、1名を除いて、1回30分程度以上の予習・復習を1～3回行ったと回答した。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の質評価において、どの項目も評価は高かった（平均値4.5～4.8、中央値4.5～5.0）。「評価基準は明らかであった」「学習範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「学生が参加する機会が作られていた」「質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」に対し、回答した全員が「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」と答えた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2回の授業で1つの課を終えるペースを保ち、割合にテンポよく授業を進めることができました。コミュニケーション主体の教科書であったため、クラスメイトと話し合っって会話を披露する時間を毎課で設けることができました。少人数のため、1回の授業で発言の機会がひとりで何度も回ってくることもあり、緊張感を持って臨めたと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年度は遠隔授業だったが、今年度は対面授業が全面的に復活し、遠隔授業でその有用性が確認できたGoogle Classroomを併用しながら対面授業を行うことができた。マスク越しながら、会話主体の語学の授業を無事に終わられたことに安堵している。コロナによる行動制限が緩和された現在、留学や旅行へのハードルも下がり、来年度はフランス語圏に行くということを具体的にイメージしながらの学習を促したい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報処理演習	1	後期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は、Microsoft OfficeのACCESSを用いたデータベース作成、検索、抽出法に関する講義であったが、昨年、一昨年の2年間、コロナ禍のためにオンラインでACCESSを用いた講義ができなかったが、今年度は対面で通常のACCESS講義を行うことができた。</p> <p>学生の受講動機は、単位数を確保する(80%)、関心のある内容(50%)であった。</p> <p>大学のコンピュータ室のPCには、ACCESSをインストールされているが、学生の個人PCには、このソフトがインストールされていない学生が多いことから、学生のアンケートには、授業時間内で内容の理解をしなければならないことから、自分だけで学習するのは難しいと感じたという意見がだされた。Excelを用いたデータベースの作成は、前期の授業ですで行っているが、卒業後、社会に出たときに、多くの会社はACCESSを用いた作業を行っていることから、後期のこの授業でACCESSを用いている。是非、学生にこのソフトのインストールをするように助言してほしい。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された			

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など</p>	<p>成績は、登録学生13名中、2名が出席日数不足のために受験資格なし、受験者11名の成績は、Sが5名(45%)、Aが2名(18%)、Bが1名(9%)、Cが2名(18%)、Dが1名(9%)であり、平均79.3であった。</p> <p>到達度自己評価では、自分なりの目標を達したと知識を確認、修正したり、新たに得ることができた2項目が、平均値4.3で、自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた、自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができたの2項目が、平均値4.1であった。</p> <p>それに対して、学習量の評価で、授業の課題以外に学習に取り組んでいないが90%であり、これは、上述した、ACCESSを学生個人のPCにインストールしてないことからくるものと思われる。</p>
--	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DPの10項目のうち、80%は平均値が中央値をこえていたが、職業倫理や行動規範について学ぶことができた、職業選択の参考になったの2項目は、中央値以下であった。しかし、上述したように、自分なりの目標を達した、知識を確認、修正したり、新たに得ることができたの2項目が中央値を大きく越えており、成績もSが45%、Aが18%で、合わせて63%に達していることから、内容的妥当性は妥当と判断した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

私は、今年度でこの科目の担当を終えるが、上述したように、Microsoft Office ACCESSは、データベースソフトとして、多くの企業で使用されているので、是非、23年度以降も、このソフトを用いたデータベース作成、検索、抽出、Excelとの連携の講義内容を引き継いで欲しい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

この授業は、Microsoft Officeのソフトウェアを用いてデータベース作成、検索、抽出法などを修得する講義である。多くの大学では、Excelを用いて行っているが、学生が卒業後に社会に出たときに多くの会社で用いているAccessを大学の学士課程で前もって修得させてきた。もちろん、ExcelとAccessはデータの互換性があることから、両方のソフトウェアを用いて解析することも行ってきた。受講学生の理解度は、非常によく（SまたはA評価が8割以上）、多くの学生から、役に立ったと好評のカリキュラムであった。コロナ禍の2年間はExcelの高機能を用いて講義をカバーせざるを得なかったが、学生個人のPCにもAccessをダウンロードすることを推奨する。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の過去・現在・未来	2	後期	選択	はい	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>総論人間科学の「地域創生」の中の科目であり、2年後期に設定されている。北九州についての基本的な知識を外部講師の講演から学び、地域や国際社会の課題について、自分が学んでいることをどのように生かせるのかということを考えるよう授業を設計した。全学共通で講座が開かれているので、オンラインのポスターセッションを実施し、それぞれの専門分野のことについて互いに学び合える場も設定した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全員の最終的な成績が標準的なレベルを超えており、到達度自己評価では4つの項目についてそれぞれ1～2名の学生が否定的な回答をしているのを除いては、肯定的な回答をしている。また、レポートや発表なども、専門教育科目で学んだこととこの授業内で学んだことが反映された内容になっており、教育目標は概ね達成されたと考える。☑</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP, カリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性 本科目は総合人間科学の「地域創生」の中の科目で、2年前期に設定されている。大学がある地域のことについて学ぶとともに自分の学んでいる専門分野をこの地域でどのように生かせるかということについても考える内容となっている。学生の成績についても、標準的なレベルに達していることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>② DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 DPの各項目について目標が達成されていることから内容的に妥当であったと考える。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、ほとんどの学生が全ての項目について肯定的な回答をしているが、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目について、1名の学生が「全くそうではないと思う」、2名の学生が「少しそうではないと思う」と回答している。200名を超える受講生であったため、学生が発言する機会を作ることが難しかったため、アプリ等を使って学生が自分の考え等を授業中に表明できるように工夫したが、実験的な面もあり十分ではなかったと言えるのかもしれない。その部分を補完するため、Googleクラスルームやメールで常時質問等を受け付けるようにして対応した。一人一人の学生の反応を把握するのが難しいので、ほぼ毎回小テストを行なって、授業内容が学生に伝わっているかどうか確認しながら実施した。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>最終的な成績や到達度自己評価から、地域のことについて学ぶとともに専門教育科目で学んだことを地域の中でどのように活かすかということについて考えることを通して、学びを深めていくという目標はある程度到達できたのではないかと考える。しかしながら、受講生がかなり多いため、授業運営上難しい面も多くあったため、今年度は新たなアプリ等を活用したりしたが、さらに工夫を重ねたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域プロジェクト	2	後期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2022年度「地域プロジェクト」は、英語学科との合同授業として進めた。地域を舞台に自分自身が活躍できるようになるために、地域の課題について追究することを目的とする。</p> <p>本年度授業内容としては、本学と商船三井テクノトレード株式会社が締結した「教育事業に関する包括的な連携協定」に基づいて授業運営を行い、学生自らが地域活性化課題発見と企業・地域発展のための提案までのプロセスを学習・体験した。また、2021年本科目を履修した観光文化学科3年生が授業補助として参加、受講生とコミュニケーションをとりながら授業進行した。</p> <p>具体的には、北九州市門司港を起点に就航を目指す水素とバイオを活用したハイブリッド型先進船舶の活用プログラム企画開発を中心とした「MOTENA-Sea」プロジェクトを題材として取り上げた。学生は外部講師とのディスカッションを通じて本プロジェクトの商用コンテンツ開発を行うとともに、企業の事業開発と地域活性化の関わり、地域観光、地域マーケティング実務およびSDG's関連の実務的能力向上を目指した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。授業開始に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としては学生の理解度確認と進行状況を常に確認する必要性は前年度と同様である。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p> <p>また、授業の成果報告会を最終授業回に行った。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

企業とのコミュニケーションをベースとした課題の発見から独自の問題抽出・地域課題解決策の企画・提案という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

企業とのコミュニケーションをベースとした課題の発見から独自の問題抽出・地域課題解決策の企画・提案という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

課題の発見から独自の問題抽出、地元企業とのコミュニケーション促進という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。学生の本授業に対する満足度から見ると妥当な評価と考える。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリア開発	1	後期	必修	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初回に、この授業で労働政策や福祉政策、企業の雇用システムとの関連において自身のキャリア形成を考える力を身につけること、多角的な視点でキャリア形成をとらえられるよう多様な外部や内部の講師を招いていることを伝えた。また、初回では、ジェンダー平等について説明し女性のキャリア形成を考えるうえでジェンダーの視点が欠かせないことを意識づけした。2回目で、主体的な意識で授業に臨めるよう、キャリアコンサルタント(外部講師)から学生と双方向的なやり取りをして、1年生の必須授業として受講を義務付けられているが受け身にならないよう工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど身の回り情報を読み解く力、自らのキャリア・デザインについて考える力は、各講義後の課題や、期末レポートで測った。特に、期末レポートでは、自分の望むキャリアにおける社会的課題を把握し、その解決方法について主体的に客観的に考えることができるかを評価した。レポート課題を出す際に、この評価基準を文書で説明し、キャリアをめぐる思考が個人的体験を根拠とすることにとどまらないこと、社会構造と関連づけることを明確にした。ほとんどの学生が基準を達成した。ただし、社会的課題の背景にある事象への言及が不足している学生が一部存在した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自分の望むキャリアにおける課題を把握し、その解決方法について主体的に考えることができることを目的に、キャリアについての個人の意識がどのように社会的に形成されてきたかを学術的な視点による現状の制度の分析や歴史的背景を解説した。また、多様な講師が講義をすることで、現状把握はより深まったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義で知識を得るだけでなく、外部講師の体験談を盛り込み、労働法では招聘弁護士が自身の関わった事件から法律を解説したり過労死された方の遺族から具体的な困窮状況を話してもらったり、ほかにも専業主夫の体験談、本学卒業生の職業生活、キャリアコンサルタントによるワークショップなど、共感的に主体的に自身のキャリアの可能性や社会的課題を理解できるような内容となった。今年度は、講義をすべて対面で実施することができ、昨年度と比べ学生とのやり取りも反応も見ながら進められた。各回の感想及び授業評価アンケートをみると、外部講師の話から刺激を受け、自分の関心のあるテーマでは自ら調べる学生もいた。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

期末レポートなどから、概ね、学生が自身のキャリア形成について考える時間となったこと、自身の可能性について自信を持てるようになったこと、今後の学生生活の重要性に気づいたことは、評価できる。受講者人数が多いために個別的な対応がすべての学生とはできなかった。次年度はより多くの学生との活発なやり取りの工夫が求められる。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
実践キャリアプランニング	2	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、キャリア形成のために様々な時事問題を知っておくことの重要性を理解してもらい、担当者の専門である社会学の知見を基にして自身のキャリアについて考えてもらうことを目的としている。受講動機として、「単位数の確保」が多くを占めているものの、「関心のある内容だから」も同程度の割合となっており、本科目の意義についてはシラバスを通じて概ね伝わっているものと考えられる。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価のためのレポートにおいて、ほとんどの学生が、講義の内容を踏まえた上で自身のキャリアや人生設計について考えることが出来ていたため、本科目の目的は概ね達成出来たと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの「自分なりの目標を達成した」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」「職業選択の参考になった」などの項目で肯定的な回答が高い割合を占めていることから、内容は概ね妥当であったと考えられる。専門分野の知識を得られたか否かについての項目では、やや評価が低くなっているが、当科目は全学科共通の科目であり、専門科目ではないので問題ないと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケートの結果から、受講者の多くが本科目の予習や復習にあまり時間を割いていない様子が見られるが、専門科目ではないため、あまり負担が重くならないよう意識しており、現状で問題ないと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

アンケートの結果を総合的にみて、キャリア科目としての目標は概ね達成出来ていると考えられるため、次年度に大幅な内容の変更は必要ないと考えている。コロナの影響などで社会に様々な変化が生じている中で、今の情勢に応じた内容の講義となるよう工夫していきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ世界遺産	1	後期	選択	はい	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の興味や関心のある分野の映画を選ぶことにより、世界遺産についても意識して見ることができるようにした。ただし、結果として長編映画を2つ取り扱うことになったため、見せる映画の本数が減った（つまり見せる地域も減った）のが今後の課題であると考えている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない			達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「優」以上の学生数が半数を超えている一方、「不可」となった学生が6名いた。アンケート結果を見ると、自宅学習の時間が不足している記述が多かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本来であれば、この授業を受けて総合旅行業務取扱管理者にチャレンジするというのが理想であるが、国内旅行業務取扱管理者試験に合格した者がゼロであり、それ以前の学習が必要となる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生のコメントでは満足しているというものばかりであったが、上述のように「映画で学ぶ」という科目でありながら見せた映画の本数が少なかったため、映画を選ぶ際には、長さも意識するようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体的に見て履修学生の成績はほぼ問題はなく、学習目標は達成されたと言える。ここ数年は学生数が少ないので、できれば学生に声をかける機会を増やし、きめ細やかな授業になるようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光産業論	1	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は、配当学年が1年生ということもあり、内容を理解しやすくした。</p> <p>毎回の授業では、レジュメを配布し、レスポンスシートを提出することにより、授業ごとの疑問点などを解説・共有することを心がけた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は通常の講義方式となり、学生の発表の機会がなかったことにより、学生参加の項目において評価が低かったものの、その他の項目では授業評価なども高く、おおむね目標は達成できたと史料する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

レスポンスシートを提出させることにより、学生の参画意識を高めるとともに疑問点の解消に役立てるようにしている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今後は、学生に発表の機会を設けるなど、授業に変化をつけ参画意識を高めたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

今後は、学生に発表の機会を設けるなど、授業に変化をつけ参画意識を高めたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
航空産業論	2	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機において「関心のある内容である」と「単位数を確保する」が上位を占めているものの、DPおよびカリキュラムマップとあわせて、内容については妥当であると思料する。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は通常の講義方式であった。知識の習得などについては、評価は高かったものの、コミュニケーション力や表現力の点については、相対的に低い数値となった。外部講師の授業も取り入れたことなどにより、おおむね目標は達成できたと思料する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

成績評価から知識理解に関しては目標に十分到達しており、DP/CP/カリキュラムマップに沿った内容であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今後は、学生に発表の機会を設け意見をまとめ、またレポート内容の質の向上を通じて知識の定着を図っていききたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業が一方向的にならないように発表の機会を設けるなど、参画意識を高めたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ホスピタリティ論	2	後期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」83.3%、「関心のある内容である」40.0%、「単位数を確保する」40.0%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は86.9点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、意欲関心に関しては96.6%、態度に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、意欲関心、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、6.6%で、インターネットの利用に関しては、33.3%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「ホスピタリティ論」となっており、インバウンド観光におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が86.7%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が96.7%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「ホスピタリティ論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の意欲関心、態度を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
旅行商品企画論	3	後期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」74.1%、「単位数を確保する」66.7%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の9回目、10回目にグループごとにフィールドワークを行い、観光客のニーズに合った旅行商品の企画をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性
成績評価から知識理解に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本科目は「旅行商品企画論」となっており、観光客のニーズの変化を分析し、他地域と差別化できる九州の観光資源及び独特なもの・コトを考察し、九州におけるインバウンド旅行商品の造成を勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「旅行商品企画論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光社会学	3	後期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」74.1%、「単位数を確保する」66.7%、「友人が履修している」11.1%となっているが、もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された		達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84.8点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、思考判断に関しては、100%、意欲関心に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、7.4%で、インターネットの利用に関しては、55.5%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「観光社会学」となっており、観光を捉える視点や方法を説明し、研究対象の新しい観光と多様化する観光形態を現代社会の動向に絡めて紹介する。また、観光社会学の事例研究の成果を解説する。

また、学生達の関心あることについて、話をする。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」100%、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「説明は理解しやすいものであった」と思っている学生数が96.3%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が92.6%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光社会学」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の思考判断、意欲関心に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	井上 登美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
プライダル論	3	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教科名はプライダル「論」と示されているが、机上の「空」論にならないよう、例年のように教科内容において学生の興味やモチベーションを持続させられるよう、できる限り多角的なアプローチを試みた。前年度の授業評価アンケートでは、受講動機として「関心のある内容である」が特に多く、その結果を踏まえ今年度もシラバスに沿った授業計画、その時々付加要素（視覚的に捉える資料の提示、興味の深度による対話形式等）を実施した。昨年度はすべて遠隔授業であったため、それでも対面時と変わらない双方向授業を目標に実施したが、その展開には少し苦慮した。しかし今年度は当初から対面授業の方針が打ち出されており、授業内では「視覚」「聴覚」を意識して、授業内における「学生と学生、教員と学生」の一体感・空気感を、授業に参加している全員で共有することができたと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>期初受講登録者29名、全員がそのまま受講終了に至った。成績評価対象者29名のうち、成績評価90点以上が13名(44.8%)、80点以上が14名(48.3%)、70点以上が2名(6.9%)であり、平均点は88.3点というかなり高い数値となった。(ちなみに最高点は98点であった。)今年度授業評価アンケートの回答率は残念ながら著しく低く、受講者29名中6名(回答率20.7%)であった。そのため、ここではアンケート結果からの内容抽出は困難と考える。回答率において考えられる要因については、「6. 授業の進め方とその向上について」内で述べさせていただく。教科の成績評価の中で大きな観点となる「グループワーク～各プロジェクトチームによる課題の対応～コミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上」を実施するにあたり、グループ学生間の内容のすり合わせやプレゼンの展開方法など、毎回の授業終了後に提出の「コメントシート(当日のふり返り、感想、質問等)」や、プレゼン終了後の学生による「採点シート(他チームのプレゼンについての感想)」に付記されたコメントからもわかるように、大きな「達成感」や「自己肯定感」を感じてくれたようであり、結果として学生の成績も高評価点へつながったと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本教科は「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」科目である。学生が興味・関心をもって選択・受講するというのが第一義であるとする。例年の受講動機は「関心のある内容である」が最も多く、次いで「単位数を獲得する」という合理的な回答も多く見られる。本教科についての内容的妥当性は、受講動機とも照らし合わせ、前述4 - (2)でも述べたように、毎授業後のコメントシート内での記述や、集中した受講態度からも見て取れる。知識・技術だけでなく、精神面でも成長できるような教科教育が目標であり、今年度もその方向へ進めたように感じている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

4 - (2)で示した、授業評価アンケートの回答率が残念ながら今回著しく低かった要因について、次のように考察する。
授業最終日（プロジェクトチームによるプレゼンテーション）が、悪天候（大雪）による休講となった。
補講日は急遽3日後の土曜日と設定された。（休講日1日分を、そっくり移行）
授業評価アンケートの実施は最終授業終了後となっていた。
更に残念なことに移行した補講日も、交通機関に影響が出る不安要素があるような雪模様であった。
授業評価アンケート回答についての指導は、前々回、前回、最終日とアナウンスし指導していたが、家路を急ぐあまり、また最終（チーム集大成）プレゼン終了の安堵感からか、どうやらアンケート回答を失念したようである。あらゆる点で、これからも更に指導方法を再考し、より良い方向性を示したい。
急遽設定された補講日の為、補講連絡情報を受信（unipa等で確認）できなかった学生もいたようであり、想定外の事項については細心の注意を払いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」教科であり、受講学生が興味・関心をもって受講し、モチベーションを持続してほしいと考え、伝えたいこと、感じ・考えてほしいことを主軸として、今年度も多角的なアプローチを試みた。成績評価点の高数値や、提出シートのコメント内容からも、教科の取り組みとしてその目標はある程度達成できたのではないかと考える。あらゆるシーンを想定し、フレキシブルに対処し、学生指導ができるよう、更に毎回緊張感をもって臨みたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マルチメディアツアーリズム	3	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業ではこれまで学んでいる旅行関連の科目を中心とし、ICTの活用方法に興味を示し、観光者視点で制作物を作成するように構成した。さらにはコミュニケーション能力の育成もできるように授業を組み立てるようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	観光DXの知識も織り交ぜながら、観光業界のITCへの取り組みを身に着けさせた結果、目標に準じた成果物を発表出来た学生がほとんどであった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

これまでに学んだ観光関連科目、情報科目の両方を兼ね合わせたものであり、内容的には妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

課題に関しては、時間的余裕をもって作成出来ていた。

パソコン教室の利用により、個人での取り組みが可能であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全員発表としたため、個々の発表時間が短くなったので、次年度以降改善を図りたい。達成状況については、期初の目標を達成できたと思料する。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
消費者行動論	2	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「消費者行動論」は「マーケティング入門」と対をなす科目である。そのためシラバスでも同時履修を推奨している。この科目では企業マーケティングの基本である「消費者を知ること」を主眼としているが、消費者行動論を理解するためには、関連の専門用語の理解が必須である。その解説と理解促進に重点をおいている。授業テキストは特に用いていない。実際の企業経営の中心課題であることは周知の事実であるが、2018年度より本学科のカリキュラム「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置された。その為、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、自治体など団体組織におけるマーケティングと消費者行動理解を促している。また、消費者行動に興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論の初学学生にマーケティング・消費者行動への興味・理解をさせるために新聞・テレビなどの経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎年受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。昨年度より授業開始時に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としてはマーケティング入門の関連科目のため、双方の授業内容と進行状況を常に確認する必要がある。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本年度はできなかったグループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題内容、レポート内容など工夫したい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ブランド戦略論	3	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ブランド戦略論は、企業マーケティングの重要な要素であるが、本学科カリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されているが、初学者のため企業経営におけるマーケティングおよびブランド戦略の役割の理解に重点をおいている。また、ブランドへの興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用、理論的かつイメージ的に理解が進むような工夫をしている。学習準備性については、上述のように企業経営分野の初学学生にマーケティング、ブランドへの興味・理解を促進させるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。また本年度の授業では、外部講師（資生堂、タカギなど）の授業を強化充実させ、ブランドひいてはマーケティングへの興味喚起を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>上記授業準備で述べた通り、初学者なため、あくまで「マーケティングにおけるブランドとは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、基本的問題としてマーケティング、ブランドの基礎知識としての経営学初学者のため精緻に評価できないが内容妥当性の面では達成できた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

外部講師授業の導入、グループワークの導入など授業の進め方については前年度より強化充実を図り、問題ないと考えているが、今後はディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目目標は達成されたとと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
デザインマネジメント論	3	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>デザインマネジメントは現在様々な企業が事業展開する際、デザインの考え方をそのマネジメントに導入しようという概念である。さらにはマーケティング特にブランド戦略論との親和性が高く、学生にもブランド戦略論との同時履修を促している。授業進行に関して重要視したのは、履修学生全員が初学者であるということと2020年度開始の科目のために学生の理解度の把握に焦点化した。そのため毎回授業コメント（感想、気づき、リクエスト、質問など）を提出させて理解度の把握に努めた。本年度は新しい試みとして北九州市他の協力のもと、北九州市の夜景をPRする菓子パッケージをグループワーク（履修学生所属ゼミ）でのデザインプレゼンテーションを導入した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前述の通り、新科目であるため毎週軌道修正しながら授業進行した。前年度まで外部講師授業やワークショップ形式授業はできなかったが、本年度は実施できたため学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境の構築ができたので、今後も継続していきたいと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に実践的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
経営学入門	1	後期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」80.0%、「単位数を確保する」52.0%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は87.6点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関しては100%、意欲関心に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、44.0%であった。インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「経営学入門」となっており、組織とマネジメントの概念や役割等具体的な内容に触れながら、人の強み・弱み、マネジメントとイノベーションの使命や方法及び戦略について学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が96.0%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が92.0%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が92.0%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「企業での就職」をつなぐ要の位置にある「経営学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
簿記入門	1	後期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門教育科目におけるマーケティング・経営・経済に関する科目の一つである。3年次で学ぶ「ビジネスファイナンス」に橋渡しができるように簿記・会計の基礎知識の習得に力を入れている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生アンケート中の「授業の質」という項目において（1）テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった、については平均点が4.4と高く、（2）期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった、についても平均点が4.4、（3）説明は理解しやすいものであった、については平均点が4.2、（4）授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた、については平均点が3.8、（5）口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目については平均点が4.0であった。以上より、本科目における教育目標は達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はDP、CPおよびカリキュラムマップにおいて専門教育科目に位置付けられており、また、あらゆる業界の間接部門において簿記・会計の知識は必要であるため、このような授業の在り方は妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の中には簿記資格を目指したいとの声も散見される。そこで、次年度以降はこの点をより強化した授業を展開したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本授業の教育目標は達成されたと考えているが、次回の授業計画時においては「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会」を作りたいと考えている。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネスファイナンス	3	後期	選択	いいえ	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門教育科目におけるマーケティング・経営・経済に関する科目の一つである。観光系への就職を希望する学生が多い本学科において、とりわけマーケティング、経営、経済科目に関心を示す学生は決して多くはない。この点はアンケート項目における受講動機において「単位数を確保するため」と回答した学生が68.4%に及んでいることから明らかである。しかし、本学科は金融機関への就職希望者も比較的多いことから、授業においては財務諸表とは何か、について詳しく、かつ丁寧に説明し、財務諸表の基本的な分析方法を習得できるように授業を工夫している。具体的には、実在する企業の財務諸表（主にP/L、B/S、C/F）を適時紹介し、その分析を通じて企業の財政状態や経営動向などを説明している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生アンケート中の「授業の質」という項目において（1）テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった、については平均点が4.5と高く、（2）期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった、については平均点が4.5、（3）説明は理解しやすいものであった、については平均点が4.4、（4）授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた、については平均点が4.1、（5）口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目については平均点が4.3であり、すべての項目で昨年度を上回る数値であった。（4）については、上記（1）～（3）に比べてわずかながら低いものの、全体の平均点は高いことから本科目における教育目標は達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はDP、CPおよびカリキュラムマップにおいて専門教育科目に位置付けられており、幅広い業界において必要不可欠なファイナンスの知識および財務諸表分析などの、いわゆるビジネス実務を学ぶ機会を設けているため、このような授業の在り方は妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業開始時において、学生にアンケートをとったところ、簿記の知識が全くない学生が例年通り比較的多かった。したがって、授業においてはそのような学生を対象に簿記入門レベルの知識を適時織り交ぜながら講義をおこなっている。次年度以降は最低限簿記の知識を習得してから授業を受けることが望ましい旨を伝える予定にしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

4. で記述したとおり、本授業の教育目標は達成されたと考えている。しかし、次回の授業計画時においては「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会」を作り、より高度な財務諸表分析ができるように授業を展開していきたいと考えている。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際関係入門	1	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業の実施にあたって重点をおいたのは、わかりやすい説明を行い、講義内容への関心を維持してもらうという点であり、これは昨年度と同じである。ただ2022年は、2021年度と違いオンラインではなく対面で講義を行ったため、諸制約から解放され、より手ごたえのある講義を行うことができたと考えている（自由記述に、「知らなかった国と国の歴史や戦争について学べてとても面白かった」というコメントがあった）。</p> <p>②履修者の受講動機でもっとも多かったのは、「関心がある内容のため」の77.8%であったが、2020年度の68.4%より増えている。講義名から内容が連想しやすいこともあるのだろう。</p> <p>③「学習準備性」という点に関しては、本講義が教科書を指定していないため、事前にレジュメを配った場合には、それを前もって読んできてもらうようにした。これは昨年と同じである。担当講師はいつも、「予習よりも復習に重点を置くことが肝要である」と学生に伝えているが、自由記述のコメントを見ると、「復習をした」と書いている学生が昨年より多かった。ただ数値的にみると、1回30分程度以上の復習をどれくらい行ったのかという質問で多かったのは、1回と2～3回を合計したラインであった（回答者18人中13人）。最多の6回は2人だったので、この数を増やすことを課題としたい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価は、宿題（30%）と学期末の試験（70%）の2つを柱とした。宿題は授業内容と関係のある英語の曲の歌詞を訳すものであって、ほとんどの受講者が提出し満点であった。ただ試験は持込不可の論述形式であるため、ここで受講者間の差がつくかたちになっている（受講者23人の総合得点の平均を計算したところ約78.47点だった）。昨年度の平均点80.58より低くなったのは、1名受験を放棄したためである。</p> <p>「到達度自己評価」の数値でみると、この講義に最も該当するのは、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」という分野の数値であろうが、その内訳は、「わりにそうだと思う」が回答者18人中7人、「かなりそうだと思う」が8人であった（計83%）。「全くそうでないと思う」と「そうでないと思う」は1人もいなかったため、この点は満足している。</p> <p>また、各回の講義で毎年それなりの量の文献を紹介しているが、「図書館利用」をみると、「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」という項においては、回答者18人中利用したのは1人であった。ただ、インターネットなどのホームページの利用は10人であった。おそらく、講義で関心を持った点は、インターネットで調べているのだろう。紹介した文献まで読み進めてもらうことが今後の課題となる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

この講義は国際関係論を講じているが、観光を学ぶ学生にとってこの分野の知識がそもそも不可欠であろう。そして、この講義はそれだけでなく、外国語の読解にとっても必要な知識を毎年提供している。なぜなら、外国語は文法や単語を詰め込んだだけでは解釈することはできず、多岐にわたる背景文化についてそれなりに知識をもってないと、適切な日本語に置き換えることはできないからだ。そうした講義の姿勢が妥当だったかどうかを判断するには、「授業の質評価」を参照する必要があるが、「説明は理解者しやすいものであった」という項目で、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答をした学生は1人もいなかった。「かなりそうだと思う」は回答者18人中10人、「わりにそうだと思う」は6人で、これは学生から高い評価を得ていると考えていい数字であろう。

②DP、行動目標からみでの内容妥当性

提出されたレポートは、ほぼ私の講義を理解したことを示す内容のものが多かった。したがってDP2はそれなりに達成されたと考えている。DP3つまり意欲関心については、「2 到達度自己評価」の「(1) 自分なりの目標を達成した」という項目をみると、「まあまあそうだと思う」(1人)、「わりにそうだと思う」(11人)、「かなりそうだと思う」(6人)であったことから考えて(回答者18人中合計18人)、かなり達成されたと思う。以上から、内容的妥当性については問題ないといえるのではないだろうか。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講者の自由記述の欄で、「知らなかった国と国の歴史や戦争について学べてとても面白かった」というコメントがあったが、このような評価をしてくれる受講者を増やすことが重要だ。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

オンラインではなく対面で講義を実施できた分、動画や音楽などを制約に縛られず自由に利用することができ、学生の関心を喚起することができた。コロナ禍でオンライン講義が続いた期間は、私の講義の持ち味が発揮できず、受講者からの評価が今までよりも下がっていたので、それらの数値が向上した分、余計にそうしたことを実感した。それゆえに全体的に目標も達成されたと考えている。ただ、もう少し積極的な受講姿勢を示してもらえよう、担当教員の側も努力する必要があるだろう。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フィールドワーク入門	1	後期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>フィールドワークは大学における研究の基礎ともなりえる授業である為、前半では座学を行い、後半では調査項目を作成し、FWの実施、結果分析、考察、発表を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価においては平均点が4.0から4.3となっており、全体を通じて教育目標は達成されたと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

フィールドワーク入門は専門科目であるものの、全般的な基礎知識が必要となる科目である。その点を踏まえると、1年次での配当を含め妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては平均点が4.2から4.5と高い値を示しており、全体を通じて教育目標は達成されたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

2年次配当の観光フィールドワークにつながる授業として、引き続き理解を深める授業を行いたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
イベント・テーマパーク論	2	後期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ツーリズムおよびビジネスの両コースに関連する科目である。そのためシラバスでもマーケティング関連科目、観光関連科目の積極的履修、あるいは履修していることを推奨している。この科目で両コースを選択している学生にとって関心のある科目のため、イベントの視点から地域活性化と観光の視点からのテーマパークを理論的、実証的に理解することを主眼としている。そのため北九州市内のテーマパーク運営会社及び広告会社の協力のもと、グループワークによる企画プレゼンテーションを取り入れてより実践的に理解できるよう工夫しているが、さらに本年度は個人での企画プレゼンテーションを追加実施した。テーマパークの企画・プレゼンテーションは学生の意見として充実度が高いとの感想があったため次年度以降も取り入れる予定である。授業テキストは特に用いず、担当教員の作成した配布資料で進行しているため特に予習は課していない。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

内容的に外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学科の特性上科目内容に興味を持つ学生が多いが、実践的な内容をどのレベルに設定すれば、学生がより積極的に学ぶことができる環境が構築できるかが課題である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域活性化研究	2	後期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は地域活性化分野の応用科目であることから、地域の現状と課題を分析していく際に欠くことのできないデータ解析の手法を中心に授業をおこなっている。具体的には回帰分析（単回帰分析や重回帰分析）を通じて、与えられたデータをどのように読み解くかに力点を置いている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	やや達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価のすべてにおいて平均が3.8～4.1と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) の教育目標および全体を通しての教育目標も達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述に「パソコンがとても苦手だったので少し好きになれた」等があり、また授業の質評価に関しても5つの項目すべてが平均値4.0~4.6となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、授業の質評価において、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」の数値が4.0とやや低い値を示したので、グループワークを取り入れるなど次年度以降はこの点を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域観光資源開発論	3	後期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は地域に根差す文化や生産物の観光資源化について学び、新しい切り口で地域の観光資源を生み出す力を養うことを目的としている。受講動機によると「関心のある内容である」と回答した学生が57.1%である。この点を踏まえて地域観光資源の捉え方、着眼点を中心に授業構成をおこなっている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均値が4.3、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.2とそれぞれ総じて高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) について達成されたと判断できる。以上により、全体を通して教育目標は達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機のうち「関心のある内容である」と回答した学生が57.1%であること、また学習到達度の自己評価の平均値も4.1～4.5となっていることから内容的妥当性はあったものと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において平均値が4.2～4.4であるため、次年度以降も引き続き地域資源の捉え方、着眼点を中心にした授業構成を行う予定である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

今年度は、①受講動機の「関心のある内容である」と回答した学生が例年に比べてやや低かったこと、また、②グループ分けの新たな方法について、今後検討の余地を残した。この点を踏まえ、次年度以降も引き続き地域資源の捉え方、着眼点を中心にした授業構成を行う予定である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ニューツーリズム論	3	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ニューツーリズムについての概念をできるだけ実例を用いて説明するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>興味のある事例を映像を含めて紹介することにより、到達度自己評価もおおむね4.2-4.3となった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP/CP/7カリキュラムマップに基づいた授業であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においても4.0-4.4となり、学生の理解度も当初の目標に到達していると思料する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

ニューズリーズムは刻々と変化していくので、新しい概念を取り入れつつ理解度を高めたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用英語	1	後期	必修	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>基本的に前期の基礎英語と同じ位置づけの科目なので、学生の英語学習に対する意識ややる気の程度を配慮して、教材を選んだ。授業中に扱う教材以外にも、単語を覚えたり、多読課題もあるので、負担が大きくなりすぎないように留意して準備した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価及び授業の質評価において、いずれも平均値が4.0前後であるので、十分成果は達成された。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

他学科の開講科目を担当したので、なんとも言えない。次回のカリキュラム改正の機会に、「必修」から「選択」に変更予定、という意見も伺った。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

特に問題なかったと思う。学生も十分についてきてくれた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

十分満足のいく授業だったと自負している。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用英語	1	後期	必修		18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者中の授業評価アンケート回答者は半分程度の13名。受講動機を見る。()は%の数字である。単位数を確保する(.100)、単位数を確保するとGPAをあげるが同数(7.7)。必修科目であり、確かに受動的動機が先に来るが、意欲的な動機づけがなされている学生もいた。理論的な説明を減らすようにして、対面授業のメリットを生かして、ペア学習、グループ学習の時間を増やして、アクティブな学習をさせるようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価は10項目で平均4.35であり、これまでの同科目の中では最も高かった。学習量の評価では、授業の課題以外に取り組んだのが、7名であり、回答者中の53%である。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生前期の英語必修科目(基礎英語)を受ける後期の必修科目であり、英語の4技能中の読む、聞く、書くという運用能力を伸ばす科目であり、位置づけは妥当と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は五項目の平均が4.38である。語学の授業は予習が前提であり、それをさせるために、授業前夜に締め切り期限を設けて、予習したテキストを撮影して、メール送信させるようにしている。これは2年前の一年生が提案してくれたことであるが、非常に効果的であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総括的評価としては、授業評価中の到達度自己評価も高いので、非常に好ましいものとする。定期試験だけで成績評価が決まらないように、細かく評価項目を設定している。例えば、小テスト、多読活動、E-learningである。大半の学生はそれを理解して、日ごろから熱心に取り組んでいるが、その網からも落ちてしまう学生をどのように指導するのが、今後の課題である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Daniel Droukis

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英会話	1	後期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>As always the students need more variety in the classroom to keep their interest. It is a difficult balance to follow the syllabus while also trying to meet the interests and expectations of young people. Balance is very important here. Sometimes that was successful and sometimes not. It would be the goal of future classes to make that balance better.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>Students want to do more fun activities. Trying to make the textbook fun is a chore. Keeping the class atmosphere light is important in this regard and it is believed that it was successful in doing so.</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

In the future theach class needs to be approached based on a variety of factors. Smaller classes are of course easier to deal with but when the classes contain students of 40 or more as all of them did it is imporsant to have the students involved with each other so that they mantain the activities longer. Focusing on the teacjheris not a good way to do this. Thestudetn centerer class is more successful.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

The wishes of the students is often hard to meet as hey do not ,match the realities of the classroom. However whenever possible it is desirable to meet the desires of the students whenever possible to make for a better clasroom atmsphere.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Continuing the status quo is good in a sense as the students benefit from the expeirences provided by the classroom as is. However it will be necessary to try to adopt measures hat will help meet the desires and espectations of the students.

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中級英文講読	2	後期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生中の授業アンケート回答者は、半分以下の9名。()は%の数字。「関心のある科目である」と「友人が履修している」が共に(55.6)、続いて単位数を確保する(44.4)、「GPAをあげる」(22.2)と続く。かなりの意欲があつての履修と思われる。授業名に講読とあるが、その学習効果を確認するために、書く課題を後半の授業回で課した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>成績区分はSとAでおおよそ3割である。上位から下位までの階層が広がった。授業評価アンケートでは、到達度自己評価の10項目の平均が4.15。本試験での不可の学生も再試で単位を得た。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

2年後期の選択科目であり、同時期にマルチメディアイングリッシュ（応用）という必修科目もある中での学生の履修であり、意欲ある学生の受け皿として、機能していると考え。これらのことから、カリキュラムマップ上の位置づけは妥当と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価の5項目の平均は、4.28。学習量の評価で、授業の課題以外に具体的に取り組んでいない理由として、1. 課題で十分。2. 授業で満足してしまった。3. 他の勉強に時間を使った。4. 主に何をすればよいかわからなかったため。5. 授業中に補えたための5つが示された。4のような学生もいることから、もう少し丁寧に臨みたい。具体的には声だけの説明では理解度が低いので、PPT等の文字資料、授業後のGoogle Classroomでの資料配信を充実させたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

6の授業の進め方とその向上の中に触れた、4. 主に何をすればよいかわからなかったためという学生もいる。そのような学生もいることから、もう少し丁寧に臨みたい。具体的には声と板書での説明だけでは理解度は低いので、PPT等の文字資料、授業後のGoogle Classroomでの資料配信を充実させたい。総括的評価としては、高い方の評価と考える。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ応用	2	後期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業アンケートからの数字 (%) を示す。受講者中のアンケート回答者はおよそ50%。受講動機は必修科目である (88.9)、関心のある内容であると単位数を確保するが (33.3)、友人が履修している (22.2)、GPAをあげる (16.7)、資格取得に必要である (11.1) の順番となる。習熟度別のクラス編成で、A,B別クラスで行っていた年度から、一クラスでの開講となり、クラス内の学力の層が多様化しているので、ミニマムな学習項目に絞るようにしている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>成績評価を (%) で示すと、S (25)、A (22)、B (33)、C (19.4)、D (2.7) となる。必修科目であるが、放棄も出た。学習到達度の自己評価は10項目平均で3.92である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

一年の前後期の基礎英語、応用英語、入門英会話、英会話、二年前期のマルチメディアイングリッシュ（基礎）の英語の必修科目群を受ける最後の英語の必修科目である。学生の学力向上のためにも、3年以降の英語の選択科目に連なる流れの中にあり、カリキュラムマップ上の配置は妥当は考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、5項目の平均は4.02である。学習量の自己評価で（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として、単語練習、チエルを行った（2名）とある。これはE-learningの教材を利用を示している。授業外にネット環境があれば、どのような端末での学習可能であることが功を奏している。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総括的評価としては、大半の学生は単位を得ているので、好ましいものだと考える。学生数減もあり、一クラスにまとめた開講となり、結果的には、この授業としては大クラスになった。上位、中位の学生は自律的な学習ができるが、下位層への手が届きにくくなっている。その学生たちへのサポートが届くように改善策を練りたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネス英語入門	2	後期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目名の通り、ビジネス英語に初めてふれる学生を念頭に置いた授業を心がけた。受講生がイメージしやすいように、就職活動中の日本人学生が面接、内定、入社、想定される業務などを細かく説明している教科書を採用した。また英語のみならず、「ビジネス日本語」も取り上げて、実務の現場での使われ方など自らの経験に基づいて説明する時間も毎回設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				やや達成されなかった
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP1の知識理解に関しては、中間試験の平均点が、30点満点中13.5と半分以下の得点結果になった。定期試験については、50点満点中29であった。特に定期試験については、中間で扱ったユニットも含めて第1回から第15回の授業で扱ったところまでを出題範囲と事前に何度も説明していた。指示内容を理解している学生は、中間試験の答案を修正して受験に望んでいたため、非常に高い得点が取れていた。その一方で、事前の指示内容を理解せずに、準備不足のまま低得点の結果に至った学生も数名散見され、いずれの試験でも受講者間で得点差が大きかった。また数名の受講生が、欠席過多による低得点や再試不合格のため、単位修得に至らなかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習到達度の自己評価においては、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という設問に対して、ほぼ全員が「そうだと思う」を選択している点などから、内容的妥当性は確保されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年は昨年と異なりすべて対面授業だったが、開講時から概ねスムーズに導入することができた。また自由記述において、「ビジネス英語で使える知識や話をたくさんしてくれたので楽しい授業だった」「とても分かりやすい説明で、ビジネスにおける会話表現が学べてよかった」など好意的な意見が書かれていた。授業の進め方や方向性は今後も継続して行っていきたい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価における(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という評価項目に対して、ほぼ全員が「そうだと思う」を選択しており、ビジネス英語にまずは慣れ親しむ、という目標は達成できたと思われる。今後の課題としては、中間試験や定期試験前に復習する時間を設けて、試験対応も行っていきたいと考えている。残念ながら一部の学生に欠席過多が散見されたので、学科教務委員の先生だけをお願いするのではなく、担当教員が直接本人とメールでやり取りを行い、出席につなげるなどの改善を図っていきたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用TOEIC演習	3	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>資格試験TOEIC対策の授業であり、授業目的を設定しやすいが、大学の授業であり、そこにとどまらず、社会人になっても生きる学力として、書く力の向上も目指した。授業評価アンケートの数字を示すが、受講生中、回答したのは20%程度である。受講動機は高い順から示す。()は%である。、関心のある内容である(80)、単位数を確保する(60)、GPAをあげる(40)、必修科目である、資格取得に必要である、友人が履修しているが、それぞれ(20)となっている。なお、この科目は選択科目である。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学習到達度の自己評価は10項目の平均で4.6。対面授業とする学びとオンラインでの学びを併用した。対面での学びが本当に身に付いたかどうかを確認するために、毎回オンラインで課題提出をして、全員の提出物を印刷して、次の授業で配布して、解説した。授業回数を重ねるにつれて、理解度が高まっていた。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

英語の必修科目がない、3年次に置かれている選択科目である。学生の受講動機からもわかるように、内発的な動機・関心のある内容である（80%）とあることもあり、この授業が、就活開始に備える時期に設けられていることには合理性があると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

大教室での昼食直後の授業であり、学生は睡魔と戦っていることはよくわかる。可能な限り、一斉指導の部分は最小限にして、学生同士でのペア、グループでの読み合わせを取り入れて、アクティブな活動が可能になるようにした。授業の質評価5項目の平均は4.08。小テストの返却方法として、毎回一部の学生に配らせているが、それが「嫌だった」と意見が出た。その理由は、オンラインを2年間しているので、3年生は名前と顔が一致していない人もいるので、その人も失礼だと思うからであった。改善案として、この方式は使わないことにします。予習の課題（授業前日までに、予習の記録を写真で送ることについて）意見もありました。「しっかり予習しているのに、一人か二人がしていないせいで、提出させられるのはきつかった」。どのようなやり方にもメリット、デメリットがあります。予習を未チェックにしていた年度では、予習する人が次第に減っていき、大半が予習をしない構成となったことがあります。そうなりますと、学生の皆さんが困りますので、これは継続します。学生は教員から予習をすることを求められなくても、自主的に予習をしてくるのが、本来の姿であるとは考えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総括的評価としては、到達度の自己評価も高いので、申し分ないものと考えます。授業の質評価で一番低いのは、「説明は理解しやすいものであった」が、3.6。可能な限り文法用語を使わずに説明をする方針で行ったが、どうしても説明には文法的な理解が前提となっているところがあり、そこが伝わらなかったという実感がある。それは、オンラインでの提出課題から把握できていた。そのような学生へのサポートを考えていきたいと思えます。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用英語通訳ガイド演習	3	後期	選択		7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>"The second term course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to translate Japanese culture for tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We continued to use the textbook ""This Is Japan"" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	Students were assessed on passive participation, weekly class tasks, and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student scores were well-balanced from the 60s through the 90s.					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The basic skills being utilized were both practical and useful. Students also had the opportunity to improve their technical skills and ability to study and work in an online environment. The average student took the opportunity to improve their skill set.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will be to integrate the huge amount of additional blended learning materials created over the past two years. New approaches and skills were required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students. This was achieved while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards under the extremely difficult circumstances of the COVID-19 pandemic.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Integrating a wide range of educational technologies into the course syllabus will continue as I combine the benefits of online teaching techniques with fully face-to-face lessons in a post-pandemic teaching environment.

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
エアライン英語	3	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>【重点項目】</p> <p>1. 航空会社の実務で使用されるエアライン英語は、一般の英語とは異なり特殊な表現、記述が多い。従って、通常の英語とは分けて理解させること、および間違えて記憶しないよう使い方の違いに配慮して授業を進めた。特に、通信業務や空港業務で使われる英語として、言葉やメッセージ送信業務などではFULL SPELLを使わず母音を抜いたABBREVIATIONで表し、また、アルファベットの一語一語の表現、表記で聞き間違いが起らないよう各航空会社ごとに決めたフォネティックコードを利用する。これは、まさに航空業界、一部、旅行業界のみで 사용되는ものであることを繰り返し注意しながら授業を進めていった。</p> <p>2. 特殊用語が多く、事前学習が困難であることから用語の一覧表を作成し授業ごとに配布。用語の意味とどのような場面でどのように使用するかの解説に重点を置いた。</p> <p>3. この講義は、事後学習が重要であり、小テストを繰り返し実施し知識の定着を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された			やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>・到達度自己評価において、知識の新たな習得、確認など高い評価を得られている。</p> <p>・全体の評価において、75%が、A・B・C評価となり、またテストの評価基準を良く理解してくれてなお、これは、授業の質評価に表れていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・航空業界は、常に即戦力になる人材が求められる。その意味から本科目は実務知識の早期習得の場として大変重要と考える。航空業界を目指す学生のみならず、観光関連業種においてもここで学ぶ知識は必要性の高いものであり企業では十分活用できると思料する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・授業で使用できるテキスト、参考書が無いことから、項目ごとに作成したプリントにて対応した。従って、事後学習ができるようにプリントに授業中のポイントが記入できるよう工夫をした。その結果、知識の定着度合いを確認する小テストの評価は高くなっていった。

・航空業界は現在、高いホスピタリティマインドが求められているが、知識に裏付けされた明るい性格が重要であり授業を「楽しい」と受け取ってくれていることは、この二つのことを備えた学生がいるということで大変有難い。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・特殊な表現を理解することは楽しいものであるべきで、関心のある科目だから履修したとあるように楽しく覚えていってほしい。何度も言ったが、事後学習が大切であることを理解するように授業内容を構築していく。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初級中国語会話	1	後期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年生を対象とする授業で、全員が中国語初めての学習なので、中国語の特徴や学習方法を説明する。授業は中心に中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して、中国語の話し方、習慣の表現等を理解し、応用能力を身に付けてもらうことである。また中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、事情等を適宜に紹介する。更に学生の学習への意識を高め、学習状況を把握するために、ユニットごとに確認テストを行っている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は90点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達した。学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したい、新た得るところができた観点での自己評価にかなりそうだと思う」、「新しい知識を身に付けたと考えられる」、「自分が学ぼうとして専門分野について、学びを深めたいと意識を持つことができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においては、それぞれ20名と高かった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP,カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性については、本科目「中国語に関する能力育成科目」であるが、外国語の基礎科目をつなぐ要的位置にある。内容的には妥当であるとする。DP,行動目標から見ての内容的妥当性については、異文化、多言語の領域の成績は上昇したことから内容的に妥当であったとする。以上からの内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の評価において、「テスト、レポート、提出物など評価基準は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文書等で学生の質問を受け、答える機会が作られていた」については、高く示されていた。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

専門教育科目の入口に当たる本科目の位置付けから、基礎的知識の形式については概ね達成できたが、コミュニケーション能力の面で課題を残した。この点は引き続き指導する予定である。学生に中国語を向上させるために、中国語で日記を書いてもらっているが、来年度により綿密に実施することをやりたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コミュニケーション中国語	1	後期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. コミュニケーション中国語の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の25.0%を除いて、③「関心のある内容である」は100.0%であった。これらのことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 実際の受講人数が8名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができました。</p> <p>3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見からみると、少人数のクラスなので、教師と学生間の交流は良くできていて、学生たちも積極的に授業に参加しました。ただし、不足な部分もあります。今後の授業において、できる限り教師と学生の間だけでなく、学生同士の間での会話場面や機会も増やしていくことに工夫したい。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>1. S評価は1名、A評価は3名、B評価は2名、放棄は2名であり、最終的な成績の平均値は「83.8点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解は3.3で、(DP-5)の技能表現は3.3であることからみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わることができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することが評価するべきです。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点3.3点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点3.3点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は3.8点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、各項目の平均値は3.8以上に達していて、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、関心のあるテーマに対して、インターネットの学習がかなり利用したことが見られて、いい結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. コミュニケーション中国語は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れて指導していきたい。
3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。
4. 実用性のある語学資格の取得を目指します。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム中国語	3	後期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目はツーリズム中国語および旅案内のノウハウを学習するものである。学習者に旅案内に必要な丁寧な言葉使い、はっきりとした発音を身につけ、中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解してもらうことに重点をおきました。</p> <p>②開講時に学習目標や学習方法、および評価方法を、毎回の授業に授業スケジュール及び予習・復習の内容を学生に明示することを心に掛けました。また、予習してもらった内容を必ず学生に発表してもらい、間違ったところを訂正し、分かりやすく説明するように努めました。</p> <p>③受講動機は「関心のある内容である」が81.3%であったので、学習者に10の場面において写真やイラストなどを使って、ガイド練習するように計画しました。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された		達成された	達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①学習者全員各課で学んだ知識を応用し、パワーポイントを使用し10の場面において自分が住む街などをガイドすることができましたが、発音はまだきれいではない学生がいます。</p> <p>②「学習量の評価」においては、選択肢⑤の6回を選んだ学生が最も多かった。</p> <p>③「到達度自己評価」の(1)～(9)の項目において、中央値はすべて5.0で、(10)は4.0であった。</p> <p>以上3点から上記の評価は適切であると考えられます。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容の妥当性

本科目は観光文化学科の専門教育科目であり、重要な位置を占めている。旅案内に必要な語学力やノウハウをしっかり身につけ、さらに中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解させることができた、内容が妥当であったと考えられます。

②DP、行動目標からみての内容の妥当性

「受講動機」として、「関心のある内容である」が81.3%で、「単位数を確保する」は62.5%であった。大多数の受講者は積極的に学習し、良い成績を修めることができました。

③「到達度自己評価」の(1)～(9)の9項目の中央値はすべて5.0であった。

以上から、内容的妥当性には問題はないと考えられます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方について、つねに学習者とコミュニケーションを取り、確認しながら進めることができました。

「授業評価の指標」の5項目の中央値は5.0であった。

以上から、授業の進め方に問題はなかったと考えられます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「到達度自己評価」の(1)～(9)の項目において、中央値はすべて5.0で、(10)は4.0であることや「授業の質評価」5項目の平均値がすべて5であることから、総括的に見て、高い授業効果が得られたと評価します。

来年度に向けての課題は、一年次、二年次で中国語の基礎をしっかり作れなかった学生を如何にして効果的に指導することです。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅱ	2	後期	選択	はい	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期に「欧米観光文化地理Ⅰ」を履修した学生が多いということを想定して、前期とは異なる国々を取り上げるようにした。ただし観光分野において重要国については、前期で学ばなかったテーマで発展学習を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>単位が取れた学生の成績は良かったものの、7名の学生が「不可」となった。100点が取れた学生がいたということを考えると、教員の説明には大きな問題はなかったと思われるが、私が学生の受講態度をもっとしっかりと把握する必要があった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

総合旅行業務取扱管理者の試験を受けるのに必要な知識であるとともに、「映画で学ぶ世界遺産」で学んだことを復習できる内容となっている。「比較文化論」ともあわせて受講すると学生の興味がさらに高まると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教員側からの一方的な解説の授業であり、学生は退屈するかもしれない。次年度は、学生の発表を取り入れて、授業に参加しているという意識が高まるようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

上述のように7名の学生が「不可」であったが、他方、17名の学生が「秀」であった。このように全体としては、成績上位の者が多数を占めていて、全体として学生の理解が深まったことが分かる。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理 II	2	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」94.7%、「単位数を確保する」63.2%となっている。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>最終的な成績の平均値は86.3点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、技能表現に関する問題は94.7%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、26.3%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「アジア観光文化地理Ⅱ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が94.7%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅱ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ欧米文化	3	後期	選択	はい	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>履修学生数が多いため、私語などをしないよう授業に集中できるような映画を選んだ。期待通りに学生の集中力もあった。そのため少し重いテーマの（退屈しかねない）映画も見せてみたが、幸い集中力を切らすことなく見ていた。学生の質の高さを実感した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業態度は極めて良かったが、「優」以上の学生が半分しかおらず、内容の理解については不十分な学生も見られた。私の説明の仕方に問題があったかもしれないということで、次年度は、取り上げる内容の量を減らして丁寧に説明するようにしたい。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

観光文化学科で「文化」を学ぶというものであり、妥当であった。ビジネスや地理などに関するものも取り入れて、それまで学生が学んできた内容と関連づけて説明をした。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生に毎回、プリントを配布して学習のポイントが分かるようにした。しかしながら、その内容の分量が多いため、学生がついてこれなかった可能性がある。プリントの枚数をまず減らして、学生に無理がないようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業アンケートを見ると、多くの学生が授業と関連のある自主学習をしていたことが分かる。このような学生の態度は本人の大きな成長にもつながるため、教育効果としてはかなり高いものであったと言える。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論Ⅰ	2	後期	必修	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は北九州市総務局女性活躍推進課との連携で行った。受講生の関心度の高さが示すように間近に迫っている就職活動への準備喚起と何よりも学生自身のキャリアデザインの重要性、「働く意味」、「企業とは何か」を理解する点に重点を置いている。福岡県内特に北九州地域の様々な業界で活躍する外部講師によるリレー講義と担当教員によるキャリアデザイン理論で構成した。なお、本年度は就職課との連動・協力のもと授業展開した。外部講師は業界の現状、仕事での経験、就職活動のアドバイス（求められる人材）等の内容構成とした。授業での重点は学科特性と受講生の興味等を勘案しての講師手配である。この科目の性格上学習準備性は特に意識していないが、学生と外部講師（企業）とのコミュニケーションの取り方に配慮した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの「到達度自己評価」から「達成された」が妥当と考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの受講動機、到達度自己評価（1）（2）から内容的妥当性はあると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

科目の性格上「授業の進め方」については各講師に一任しているが問題は無いと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学科特性と受講生の興味という点での講師選択は一定の評価はされていいと思われる。今後の課題として、インターンシップとの関連性（インターンシップ先企業への依頼等）があげられるため、同時履修が望ましい等シラバス表記の検討も必要である。
昨年同様、本学就職課長をはじめ課員の方々に多大なご協力をいただき、滞りなく授業を運営することができた。この場をお借りして感謝申し上げます。
ありがとうございました。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論 II	3	後期	選択	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は就職活動を半年後に控えた大学3年生を対象に、就職・キャリア支援を念頭に実施している。具体的には業界研究や各自の自己分析をおこなった上で、ES（エントリーシート）作成の基本を理解し、集団面接・集団討論をどのように取り組みべきかを学ぶ。なお、受講動機をみると「関心のある内容である」という割合が70.2%と非常に高い。この点に鑑み、授業においては実際に各学生に模擬ESを作成して頂き、どのような点が評価され、あるいは評価されないのかを詳しく説明することに注力している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価によると、平均値が4.2～4.4と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) は達成されたと判断できる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由意見の記述をみると、「面接練習を通じて自分を見つめなおすことができた」との記述があること、また授業の質評価も4.4~4.6と平均値が高いため、総じて内容は妥当であったと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本授業では業界研究と自己分析をおこなった後、学生のESの書き方を指導し、また集団討論などの練習をおこなっているが、業界研究がやや間延びしたため、次年度以降は学習効果が高まるように工夫したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体としては教育目標は達成されたと判断できる。次年度以降については、学習効果が高まるように時間配分などを工夫したい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム演習	1	後期	必修	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると、「必修科目である」と回答した割合が100%であるため、本授業ではテキストを通じてツーリズム分野全般の基礎的事項を中心に説明している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.1と高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が3.5～4.1とやや高いため、思考判断 (DP2) から技能表現 (DP5) についてはやや達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標はやや達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケート項目における学習量の評価では「授業内容を聞いても理解できなかったところをインターネットを使って調べたりした」など、学生が自ら主体的に調べる動機付けになっていることから、授業の内容的妥当性はあったものと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

上記のように、教育目標はやや達成されたと判断できるため、引き続き次年度以降もさらに工夫した授業を心掛けたい。また、授業を受けるにあたりシラバスを参考としている学生が比較的小さいため、この点についても授業開始時に指示するなど検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本授業は、本学科が実施しているインバウンド観光研修や外国人観光客との異文化交流の基礎となるため、その点を常に意識し、次年度以降も教育目標を達成できるようにさらなる授業の工夫を行う予定である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域活性化演習	2	後期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門教育科目における演習科目であるが、「地域活性化」という言葉は多義的に使われることが多い。そこで、授業計画においては、学生が地域活性化を学ぶ上で真に必要なことは何か、またどのような授業構成が最も教育効果があるかを熟慮した。具体的には「企業もしくは団体と学生がコラボして、一定の成果を生み出すこと」を目標とし、その過程においてさまざまな経験をするをとりわけ重視した。ただ、学生アンケート中の受講動機については、「関心のある科目だから」と答えた学生が2割程度しかおらず、この点は「地域活性化」の意義を授業開始時においてより丁寧に説明していく必要があると感じた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DPの平均値が4.1～4.5であること、また授業の質の評価においても、(1) テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった、(2) 期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった、(3) 説明は理解しやすいものであった、(4) 授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた、(5) 口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目のすべての平均点が4.2～4.4であることが根拠として挙げられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はDP、CPおよびカリキュラムマップにおいて専門教育科目の必修科目に位置付けられており、地域活性化に携わる人材を送り出す上で必要不可欠な経験を学ぶ機会を設けているため、内容的妥当性があると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の準備は後期になってからでは時間的制約が多い。したがって、この点が今後改善すべき点であると言える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本授業で最終的に成果発表会まで実施できたことはとても良かったと考えている。また、学生も企業訪問をおこなうことでよい経験を得ることができたのではないかと考えている。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を最も大きく受けた学年であり、グループディスカッションの経験などもなかったため、授業では積極的にグループディスカッションを取り入れるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>履修生全員が「優」以上の成績であった。学生のコメントを読むと授業外でも積極的に調べ学習などを行っていたことが分かる。知的刺激を与えた授業であったということであり、今後にも生かしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当である。それまでに学んだことを教室内で再確認をし、さらにそれをフィールドワークで体験できたということで、知識が身に着いたようである。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

グループディスカッションは教育的に良かったし、学生も希望しているので、今後も取り入れていきたい。履修生たちは来年度は卒業論文に取り掛かるので、ここで学んだことをどう卒業論文に生かしたら良いのかを教えたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

履修学生の1年間の知的成長を見ると、授業としては申し分がなかったと言える。来年度もこの経験をきちんと生かすことができるよう意識して授業に臨みたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートからの資料も使うが、履修生8名中の回答者1名の数字であり、全体を代表する資料とはいえないということを最初に記します。受講動機は必修科目であるが100%。受け身的な動機といえる。授業の出席率が好ましくなく、なかなか全員が揃うことがなかった。履修生たちの前年度と本年度前期の出席状況からしても、非常に厳しいものとなることは予測されていたので、授業への出席率をあげることにつながるように、雰囲気作りに力を注いだ。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	やや達成されなかった		どちらともいえない
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績はSが38.5%、Aが50%、その他は資格なし。到達度自己評価は10項目の平均が、4.2。但し、実際にはいくつもの課題（主にレポート）を課したが、基本的なレポートマナー、論文マナーが習得されているとは言えない層がいることもあり、教育目標の達成については、どちらともいえないが中心となる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

演習・研究の科目群が、1年後期から4年後期まで体系的に並べられている。当科目はゼミという位置づけであり、前期の専門演習Ⅰと4年の卒業研究をつなぐ授業として、必要な配置であり、カリキュラムマップ上の位置づけとしては、妥当と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は五項目平均が4.6であり、好ましいものがあるが、回答者が一名であることを考えると、判断が難しい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

総括的評価としては、申し分ないとはとても言えない。とにかく学生に授業に来てもらい、基礎的なスキルを身につけさせるようにする必要がある。出席率向上に結びつくような手立てを考えたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門演習 II は4年生の卒業論文研究教育への円滑に行うための研究演習教育として位置づけ、まず視野の広げ、判断力、分析力の学習方法を身に付けてもらうことである。ゼミに所属して専門的に「学び」、「研究」、「多読」、「レポート作成」、「文献の収集仕方」、「発表の反復」等により実践的な力を身に付けることを目指す。昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを実施した。学習者の関心事を再度確認した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均値は85点であり、全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね90点以上として判断作成）に達した学生は9名となった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性、本科目は専門演習科目である。卒論研究を繋ぐ要の位置にあり、必修科目である。内容的に妥当であるとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が5, 0となった。「説明は理解しやすいものであった」の平均は5, 0と高かった。なお図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後できる限り図書館の利用習慣をつけていくように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

専門演習Ⅱは専門的知識の形成、判断力、分析力、実践力の養成については概ね達成できたが、ゼミの担当として常に連絡し、指導をしっかりと必要があるとする。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」と「関心のある内容である」それぞれ27.3%となっているが、履修者が「専門演習 II」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあることが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は92.1点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、技術表現に関しては、90.9%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、81.8%で、インターネットの利用に関しては、45.4%で、学術データベースの利用に関しては、72.7%となっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性
成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本科目は「専門演習Ⅱ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。

③まとめ
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。
また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と課外活動体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。また、「地域プロジェクト (MOTENA-Seaプロジェクト)」では授業サポートを行い、プレゼンテーション能力などの向上に努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	学習到達度の自己評価、学習のための情報利用などの評価より「達成された」思われる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前年度の課題であった就職活動指導とマーケティング理論の基本的理解、課外活動との時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったため計画通りに遂行できた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目達成状況としては概ね達成と評価するが、上記の通り、マーケティングの基本学習量の確保・向上と就職活動指導の計画の時間的配分が課題。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本演習は、卒業論文の作成を視野にそのテーマ決定のための準備段階として位置付けている。具体的には「観光ビジネス」、「観光経済」、「地域活性化」といった分野に関する国内外の論文を輪読し、議論を通じて知識の整理や理解を深めていくことに重点を置いている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.8であることから知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また、同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.5～4.8と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述に「興味をもった分野を調べて学習した」等があり、また授業の質評価に関しても5つの項目すべてが平均値4.5となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみると図書館を利用した学生が少ないことがやや目立つ。この点、次年度以降は参考文献となる書籍も充実させるなど検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は例年になく学生の関心が多彩で卒業論文のテーマもそれを反映して多彩なものとなった。指導においては、学生の多様性を考慮して、それぞれの学生にふさわしい方法を選ぶようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>2名の学生の卒業論文執筆の進度が遅かった。最終的にはその2名もレベルの高い論文を仕上げているのは良かったと言える。他の学生は当然ながらレベルの高い論文を書いていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の自由な発想をなるべく生かしたいという思いで、テーマも自由に選ばせたが、それまでの学科の専門科目とは関連の薄いものも数名が選んでいた。せっかく学んだ専門科目であり、理想としてはそれを踏まえたものが良いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生のコメントを読むと授業には満足していたと評価できる。欠席の多い学生がいて卒論執筆が進まないことがあったため、次年度は欠席中でも課題を提示して卒論執筆の進捗を落とさないように工夫をしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

履修学生の仕上げた卒論を読むと、かなりレベルの高いものが多く、授業としては問題がなかった。次年度は履修生も増えるため、指導が散漫にならないように、これまでにはなかったグループ指導を取り入れたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>履修登録者8名中、アンケート回答者が5名である。学習準備性については、受講動機は必修科目だからが、100%である。動機は受動的だが、取り組みはきちんと行われた。それは卒業論文から言える。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の分布を%で示すと、S (37.5%)、A (62.5) である。学習到達度の自己評価は10項目の平均が4.2である。自由記述では、学習量の評価で、「卒業論文の制作」「図書館で勉強をした」とある。どちらも授業の課題に関わることはある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

演習・研究の科目群が、1年後期から4年後期まで体系的に並べられている。三年後期の専門演習IIを受ける科目で、演習・研究科目群の総まとめの最終年次の通年科目であり、カリキュラムマップ上の位置づけとしては合理性があり、妥当と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価では五項目の平均が、4.64。5. 情報利用では、(1) 授業を履修する際にシラバスの記載を参考にしたでは、②参考にしたが60%。(2) あらかじめ授業の計画を立てたでは、②立てたが80%である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総括的評価としては、かなり好ましいものであったと考える。最終的には卒業論文でその成果が反映されるが、コロナ禍の中で質的研究も取り入れた学生の努力には学ぶところが大きかった。

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業研究はこれまでに学んで得た知識とアプローチの仕方を生かしながら、学生各自がそれぞれの専門領域における学習の中で最大の関心事として選んだテーマを明らかにし、その問題への考察を深め、見通しを持って一つの仮説を立ててみる方法に習熟するのは学習の狙いである。従って、先行研究の成果を収集する力、それらを批判的に理解する力、仮説を立てる構想力、仮説を論文として展開する力等を養うことに置く</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生による授業評価においては、自分なりの目標を達成したことに関しては、全員が比較的に達した。知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができたことに関しては、理想的レベルに達した。卒論を書くには論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく、口頭及び論文で述べる能力を習得出来ている理想的レベルに2名達しているが、全員が標準的レベルに達している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、DP、カリキュラムマップ上の位置から見ての内容的妥当性について、学科は卒業研究は4年間集大成の位置にあり、必修である。学生の成績を収めていることから、妥当性であると考えている。学生が積極的に課題を考え、問題を思考判断として、何を論述するかが確実に把握できたから成績は上昇したことも内容的には妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均値が4, 0となり、「口頭発表、文章等の学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均が4, 0となった。卒業できない学生が1名あり指導上において反省点である。次年度確定しながら授業に参加するよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

卒業研究に当たる本科目は学科の位置付けから4年間の勉強の集大成の形成については、概ね達成できたが、この授業を履修する際にシラバスの活用などを発火りたかったが無視されていて、次年度しっかり確認してもらうことを促していきたい、また、毎回の狙いを具体的に示すこと、できる限り意識的に提示するようにすることを改善を行いたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%となっており、履修者が「卒業研究」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあるようで、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>最終的な成績の平均値は93.7点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、技術表現に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館に関しては75%で、インターネットの利用に関しては、100%で、学術データベースの利用に関しては100%となっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「卒業研修」であるが、「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考える。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われませんが、教育方法をさらに検討する必要があると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が各自で選択した卒業研究テーマについて資料収集し、それを自分なりの視点で分析できる能力要請に重点を置いた。学生も資料収集及びアンケート調査など例年になく制約を受けたにもかかわらず、各学生は2週に1回の研究進捗状況の発表に熱心に対応した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価についてはやや達成されたとされるが、アンケートにおける学習量の評価、情報利用、図書館利用の低さは卒業研究自体の質に関わる重要な課題と考えられ、改善を要する。改善方については、課題量の検討、研究の質的な向上を常に意識させる。ただし情報利用、図書館利用についてはコロナ禍で制約があった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

達成状況はやや達成したと判断するが、上記で記述した学習量、情報利用等が課題である。

リフレクションカード 2022年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本演習科目は1年間を通して卒業論文を作成・提出することを目標としている。具体的な指導方法としては学生の研究発表を通じて、論文目次の作成から先行研究の調べ方、論文の論理展開、参考文献の書き方などを中心におこなっている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.3であることから知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また、同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が3.8～4.3と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の質評価に関して5つの項目すべてが平均値4.0~4.6となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみると図書館を利用した学生が意外に少ない。次年度以降は参考文献となる書籍も充実させるなど検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。